

アルコール問題に関連したうつ病患者のアンケート

久留米市かかりつけ医うつ病アプローチ研修検討会

若葉の鮮やかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は久留米市かかりつけ医うつ病アプローチ研修会への参加、ご協力ありがとうございます。

本年度の久留米市かかりつけ医うつ病アプローチ研修会では、アルコール依存を含めたアルコール使用障害とうつ病についての研修を企画しています。アルコール依存症と気分障害（双極性障害、単極性うつ病）が併存する割合が高いということはよく知られ、アルコール使用障害と双極性障害では 30%程度に併存が見られ、うつ病を経験した人では、アルコール依存症の生涯合併率が 40%と高率であるという報告があります。また、自殺についても、アルコール依存症における自殺率は高く、自殺既遂者に存在した精神疾患では、1 位気分障害に次いで、アルコール使用障害が 2 位を占めています。うつ病と共に、アルコール依存への対応も自殺予防につながると考えています。そこで、アルコール依存・使用障害についての久留米市での現状を調査したいと思います。以下のアンケートにご協力をお願いします。

- ① 外来で、アルコール依存の可能性のある患者さんを診察されていますか？

はい いいえ

（はいと答えた先生は②以降の質問へお答えください）

- ② 診察されている患者さんは何人くらいですか

1～5 人/月 5～10 人/月 10 人以上/月

- ③ その患者さんの基礎疾患、主病名はどのようなものでしょう？（複数回答）

高血圧 糖尿病 肝機能障害 心疾患 高脂血症 認知症 感情障害

その他（ ）

- ④ 感情障害の併存を疑う症状はありますか？

不眠 食思不振 全身倦怠感 抑うつ気分 興味関心の低下 多弁・多動
気分高揚

先生の診療科について：

可能なら医療機関名をお知らせください：